



# 入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子！

2019年6月3日

No. 3

TEL 46-2655

FAX 46-2654

学校教育目標：夢に向かって、主体的に学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成

目指す児童像：《 ーかしこくー ーたくましくー ーやさしくー 》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子

心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを実践しよう!!

文責：校長 高橋 有

## 節目の令和元年度 運動会を終えて・・・

5月18日に時代も平成から令和に変わり、節目の令和元年度入谷小学校の運動会が、五月晴れのなかで開催することができました。多くのご来賓の皆様をはじめ、ご家族、地域の皆様からは、元気にがんばって競技、演技する子供たちに大きなご声援を頂き、本当にありがとうございました。今年の開会式では、「各競技、演技、そして目に見えない場面でも自己ベスト（今の自分を超越すること）を目指してがんばろう」という話をしました。その意図は、PTA奉仕作業や早朝の準備作業、当日の運営面など様々な形の協力があったからこそ、運動会ができることに感謝し、頑張ってもらいたいという私の願いがありました。そして、どの子供たちも自分の力を思い切り出しながら、楽しく一生懸命に競技、演技する姿を見ることができました。PTAの方々には、改めて御礼申し上げます。

# 感謝

## 1学期も折り返し・・・「形」から「質」へ

さて、1学期も折り返しの時期を迎えました。今年度当初の職員会議において、教職員で共通理解を図った本校の生徒指導の年間目標は、「心のこもったあいさつをしよう」（自分から 立ち止まって 相手の目を見て）です。

この2ヶ月間、低学年・中学年・高学年の発達段階に応じた具体的なめあてを達成できた子供がたくさんいました。「さわやかなあいさつができる子供は、目的をもって学校に来ているのではないか。やる気をもって、誰もが生き生きと学校生活を送ることができれば、自然にあいさつができるのではないか。」と私は思います。今後は、あいさつの「もと」になる部分、「中身」を大事にしたいと考えます。言い換えれば、「形から質」だと思っています。

「伝え合う」ための「聞く・話す」も同様です。静かに聞く、姿勢をよく聞くことから、相手の思いや考えを聞きとることへ、大きな声で相手の目を見て話すことから、自分の思いや考えを熱く語ることへと、

「質」を高めていきたいと考えています。  
ご家庭でも、ご理解とご協力をお願いいたします。



《5月の職員会議で教職員に提示したことばです！》



のことば・・・

「ゆ・た・か・な・心」



本校の学校教育目標にも掲げている「心豊か（豊かな心）」。

豊かな心は、生きる力を支える3つの要素（確かな学力・豊かな心・健やかな体）の1つとしてきわめて重要なものです。豊かな心を具体的に言い表すことはなかなか難しいことですが、その言葉を生かし、4つの心として表してみました。

「ゆ」・・・**ゆ**ったりした心（思いやり，寛容，協調など）

「た」・・・**た**のもしい心（情熱，忍耐，克己など）

\*「克己」：自分に打ち勝つこと。心の中に起こる衝動・欲望を意志の力によっておさえつけること。（「大辞林」より）

「か」・・・**か**しこい心（創意，知恵，真善美など）

\*「真善美」：人間の理想である，真と善と美。それぞれ，学問・道徳・芸術の追及目標。（「大辞林」より）

「な」・・・**な**ごやかな心（感謝，正直，謙虚など）

学校における「オ・ア・シ・ス運動」（あいさつ運動）や「オ・ハ・シ・モ運動」（避難時の行動に関する約束事）と同じように，豊かな心を具体的にとらえ，表現する言葉として「ゆ・た・か・な心運動」を推進していきたいと思ひます。

ご家庭におかれましても，「豊かな心」で自分自身を勇気づけたり，友達と仲良く過ごしたりするように促す言葉として活用してください。